

空調・冷凍機器の 電気料金を大幅カット

ユニヴァ・キャピタル・ジャパン

省エネルギーを レンタルで拡販



ESCO-ONE (エスコワン)

企業コンサルタントのユニヴァ・キャピタル・ジャパン（東京・港、佐野敦彦社長、☎03・3505・6650）は、空調・冷凍機用省エネシステム「ESCO-ONE」の販売を強化する。コンプレッサを適切なタイミングで制

御することで環境変化を起さず、15〜20%の電気使用量を削減できるのが特長。

同製品はビルや工場、商業施設などの電気使用量で、大きな割合を占めている空調機・冷凍機の消費電力を削減するユニット。大手リース会社との提携により、省エネ機器をレンタルしている。大手企業からも好評を得ており、提案先としては、セガ・オムロン・東急リバブルなどの企業を中心である。

通常30分間に約4分30秒間送風にするが、室内環境は特に変化しない。制御システムもシンプルで、改正省エネ法の報告書の作成支援も可能だ。

電気の基本料金は最大電力が発生した翌月から、その最大電力が契約電力となる。これをデマンド契約といい、同製品はデマンドコントロールをすることで、電力会社へ申請することにより、電気料金の基本料金を翌月から下げることが可能になる。